様式1

大学等名	名城大学
プログラム名	データサイエンス・AI入門

		プロク	グラム	を構	成する授業	美科目について				
1)対象となる学部・学科名称	② 教	育プロ	グラム	の修了要件	学部・学科によって、	修了要件は	は相違し	ない	
<u>(3</u>)修了要件									
U	「データサイエンス・AI入門」1科目2	単位を	修得す	ること	. 0					
	全学部において、同一内容による合	同講義	ELT	رر روس	、以下の学	部においては科目名称が異	なる。			
	法学部:「教養特設科目B(データサ 経営学部・経済学部:「(特1)データ	イエンフ サイエン								
	農学部:「農学特別講義 I(データ			人門)」						
	必要最低単位数 2 単位			履修	必須の有無	令和8年度以降に履修	必須とする言	十画、又	くは未足	ŧ
) 現在進行中の社会変化(第4次産業 活と密接に結びついている」の内容				データ駆動	型社会等)に深く寄与してい	るものであ	り、そ	れが自	らの
	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
	データサイエンス・AI入門	2	0	0	0					
Ē	└────────────────────────────────────	<u> </u>	ト エ 田	ᄼᅙᅝᅷᆟ		笠田でもって 口労止活りる	- 一 田 田	± 472+	L Z Z	<u> </u>
)「社会で活用されているデータ」や「 'ールになり得るもの」の内容を含む!			唄	は非吊に広	軋囲でめつて、□吊生活で付	.去の味趣	と 件 次	: 9 ক1	ヨカル
	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
	データサイエンス・AI入門	2	0	0	0					
									<u> </u>	
									-	
Œ)「様々なデータ利活用の現場におけ		力制洋	田車が	ロジニナカ	推力 : 第甲码械 (本语 制性	- 수ᅖ #	L	· ·	. – –
	*共、ヘルスケア等)の知見と組み合						し、亜州国、ソ	/	1 <i>)</i>	<i>,</i>
	授業科目	単位数		1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
	データサイエンス・AI入門	2	0	0	0					
									<u> </u>	
(F)		5/FLO	/m 1 ·	性却	▎	AT社の原則な\ナネポートは	#2.b. + _ +	I= . u		上 一
(生)「活用に当たっての様々な留意事項 E、データを守る上での留意事項への	₹(ELSI、 理解をで	.1回人' する」0	i育報、 D内容∶	ァーダ偏埋、 を含む授業	、AI任会原則寺)を考慮し、情 科目	牧セキュリ	ノナイベ	が育報が	雨咫
	授業科目	単位数		3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
	データサイエンス・AI入門	2	0	0	0				<u> </u>	

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンス・AI入門	2	0	0	0	0						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

① プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容	索·要素	講義内容
(1)現在進行中の社会 変化(第4次産業革 命、Society 5.0、データ 駆動型社会等)に深く 寄与しているものであ り、それが自らの生活	1-1	「データサイエンス・AI入門」(1・2回目) ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化 ・第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会 ・データサイエンティストの役割 ・人間の知的活動とAIの関係性(AIと労働) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方
と密接に結びついている	1-6	「データサイエンス・AI入門」(1・2・3・5・15回目) ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(商品のレコメンデーション) ・AI 最新技術の活用例
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常	1-2	「データサイエンス・AI入門」(2・3・4・5・6・7回目) ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ ・1次データ、2次データ、データのメタ化 ・構造化データ、非構造化データ ・データ作成 ・データのオープン化
生活や社会の課題を解 決する有用なツールに なり得るもの	1-3	「データサイエンス・AI入門」(2・3・4・5・6回目) ・データ・AI活用領域の広がり ・研究開発、販売、マーケティング、サービス ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援
(3)様々なデータ利活 用の現場におけるデー タ利活用事例が示さ れ、様々な適用領域 (流通、製造、製強、シ融、 サービス、インフラ、公	1-4	「データサイエンス・AI入門」(1・2・3・4・5・6・7回目) ・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化 ・データ可視化:複合グラフ、2軸グラフ、関係性の可視化、リアルタイム可視化 ・非構造化データ処理:言語処理、画像処理、音声処理 ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ ・認識技術、ルールベース、自動化技術
リー(ス・イン・ノン、ム 共、ヘルスケア等)の知 見と組み合わせること で価値を創出するもの	1-5	「データサイエンス・AI入門」(3・4・5・6回目) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案) ・社会科学、法・人文学、理工学、生命科学、薬学におけるデータサイエンス・AI利活用事例紹介

1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(4)活用に当たっての 様々な留意事項 (ELSI、個人情報 データ倫理、AI社会原則 等)を考慮し、情報に キュリティや情報漏洩 等、データを守る上で	3-1	「データサイエンス・AI入門」(13・14回目) ・ELSI ・個人情報・著作権・プライバシー保護 ・研究におけるデータ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護 ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス ・AIサービスの責任論 ・データ・AI活用における負の事例紹介(AIと差別など)
の留意事項への理解をする	3-2	「データサイエンス・AI入門」(13・14回目) ・情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性 ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取 ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介
(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習を題材とし	2-1	「データサイエンス・AI入門」(7・8・9・10・11・12回目) ・データの種類(量的変数、質的変数) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値) ・代表値の性質の違い ・データのばらつき(分散、標準偏差) ・層別の必要なデータ ・相関と因果(相関係数、疑似相関) ・母集団と標本抽出 ・クロス集計表、分割表 ・統計情報の正しい理解
云、「の子学を読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-2	「データサイエンス・AI入門」(7・8・9・10・11・12回目) ・データ表現 ・データの図表表現 ・データの比較 ・不適切なグラフ表現 ・優れた可視化事例の紹介
	2-3	「データサイエンス・AI入門」(7・8・9・10・11・12回目) ・データの集計 ・データの並び替え ・データ解析ツール(スプレッドシート、Rのインストールと利用) ・表形式のデータ

① プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

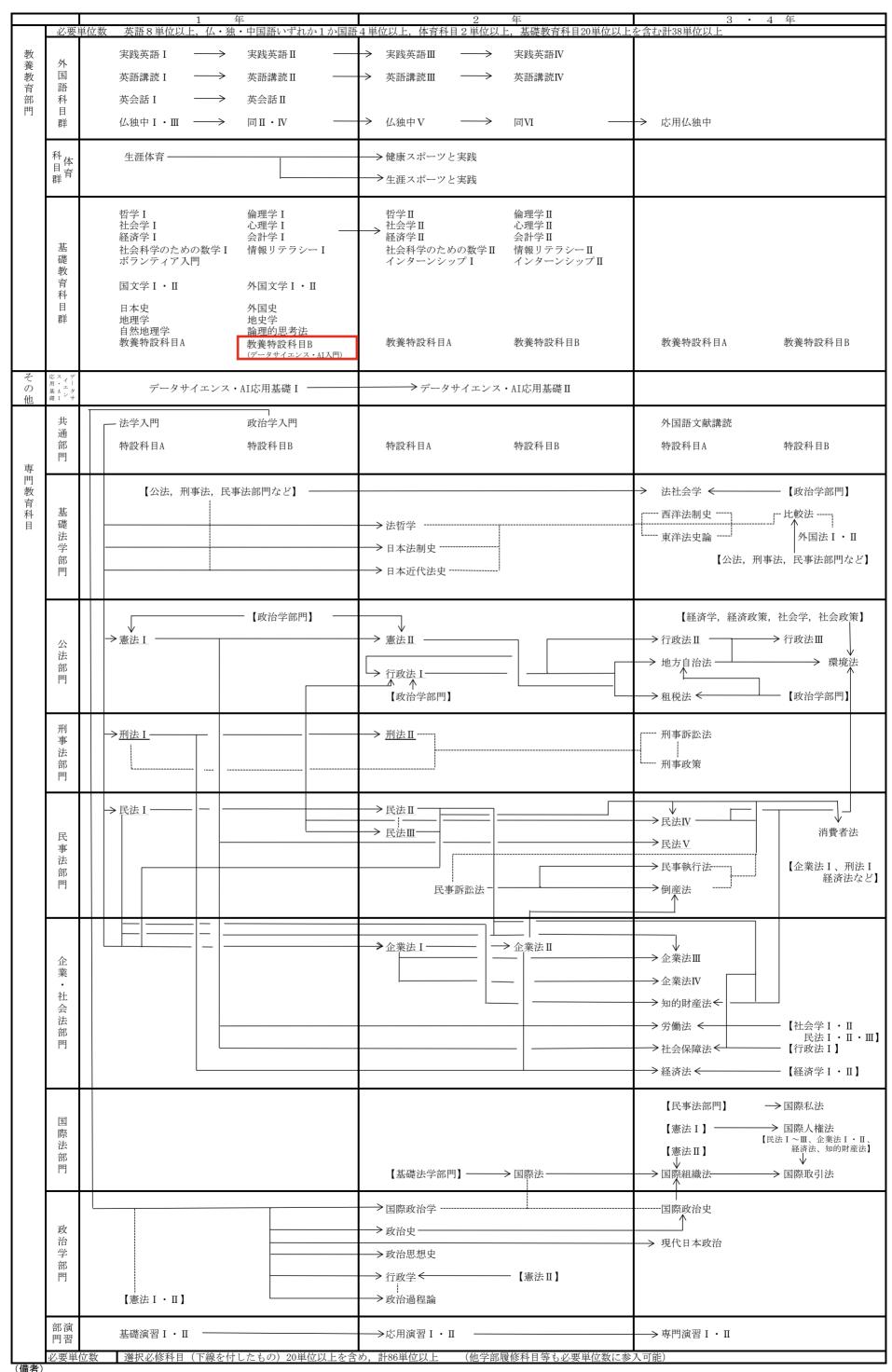
- 1. データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる。 2. データサイエンスの基本的な分析手法を身につけ、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる。 3. データサイエンスやAIに関する倫理的・法的な心得を理解する。

科目名	データサイエンス・AI入門【経営学部、経済学部、理工学部、農学部、薬学部、都市情報学部、人間学部、外国語学部】 教養特設科目B(データサイエンス・AI入門)【法学部】 ※法学部は2026年度から名称変更「教養特設科目B(データサイエンス・AI入門)」 ⇒ 「データサイエンス・AI入門」
担当者氏名	大津、史子、勝浦 正樹、兒島、孝明、齊藤 公明、庄村 勇人、杉浦 伸、鳥居 弘志、新美 潤一郎、西尾 由里、野崎 佑典、原田 知佳、坂野秀樹、藤原 康弘、堀田 一弘、松本 俊太、燒田 紗、山田 宗男、山本 修身、米澤 弘毅、前田 智彦
講義学期	2025年度前期
単位数	2
必選区分	選択科目
準備学習・事後学習	・本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。 ・準備学習として、各回の授業計画で指定したテキストの該当部分や内容に関するWebでの情報を、事前に1時間程度かけて、目を通しておいてください。 ・事後学習としては、3時間程度かけて、課題として出された練習問題を解くとともに、テキストの該当部分を再度読みながら、動画で解説した演習問題を復習するようにしてください。
課題・定期試験に対する フィードバック	・課題や小テストについては、授業内で継続的に解説、質問対応等を行います。 ・質問等については、WebClass のメッセージにて行ってください。
履修上の留意	500文字以内で入力してください ・ 開講形態は、WebClass によるオンデマンド方式の遠隔講義です。 ・ 講義動画ノ資料を視聴しながら講義内容を学習した上で、練習問題・課題など解くことによって、理解の定着に務めてください。 ・ 毎回の小テストは、講義内容の理解度を確認するもので、成績評価に大きく関係しますので、慎重に回答してください。 ・ 高度な高校数学の知識は前提としませんが、基本的な計算やグラフの作成を行います。また、実践課題や演習課題では、自身ででPCを利用しながら、実際の計算問題などにチャレンジしてください。
授業の概要と目的	近年注目を集めているデータサイエンスと AI が、社会においてどのような位置づけにあり、様々な分野でどのように活用されているのかを学習した上で(導入)、データサイエンスの初歩的な手法をマスターするともに(基礎)、データサイエンスや AI を活用する際の様々な留意事項を身に着けていくことを目的とします。毎回の講義の最後に、理解度の確認(ハテスト)を行います。こうした学習を通じて、経済・社会における様々な問題を分析し、その本質を理解し、解決できる能力を培うことを目的としています。
アクティブ・ラーニング	各回での課題は、講義内容に基づく、実社会データを用いる PBL 課題が多く設定されています。基本的には、個人の取組でも構いませんが、友人とのペアあるいはグループでの取組を推奨します。グループでのワークは、作業分担や互いの意見を共有することで、より効果的かつ有効に知識の定着が可能となりますので、積極的に取り組んでください。
該当するCP(カリキュラ ム・ポリシー)およびDP (ディブロマ・ポリシー)	本授業と学部/学科における CP および DP との関連は、以下の通りです。 【法学部】 CP1, DP3
実務経験と授業内容の関係	授業内容が研究開発にどのように応用されるかについて、企業での研究開発経験のある教員が実務経験を基に授業を実施します。
科目ナンバリングコード	
サブタイトル	現代社会におけるデータサイエンス・AI の活用とデータ思考の涵養

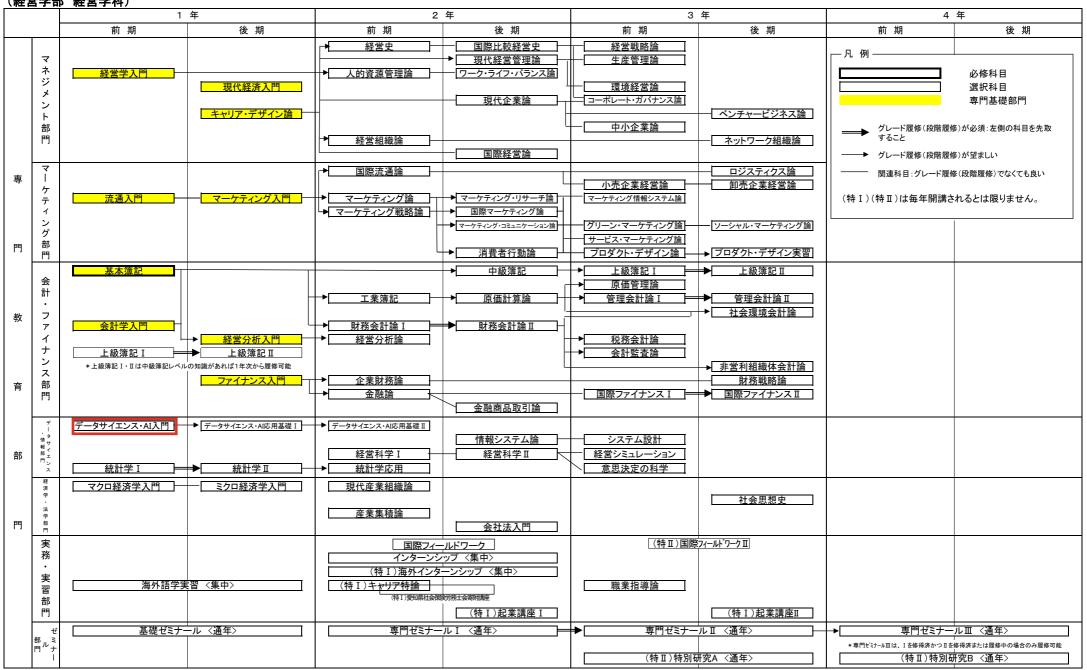
到達目標	2. 7	データサイエンスや AI が注目されるようになった社会背景と、様々な分データサイエンスの基本的な分析手法を身に着け、データ解析の結果・データサイエンスや AI に関する倫理的・法的な心得を理解する.	
		【項目欄】	【内容欄】
		《遠隔講義期間:2025/04/05(土)~04/25(金)》	講義の目的と到達目標、受講方法等を理解する。
		【講義ガイダンス、準備学習】	
		・本講義の進め方と注意事項(山田 宗男:情報工)	キーワード:データサイエンスの必要性、データサイエンティ
	1.	・数理データサイエンスの必要性(池上彰)	スト、AIとは、AIの歴史と応用分野
		・準備学習(エクセル活用法)(山田 宗男:情報工)	スト、AI CIG、AI OIE文と心用力野
		・Al って何?, 何ができる? (山田 宗男:情報工)	データサイエンスや AI とはどういう分野なのか、なぜ社会の関
		《遠隔講義期間:2025/04/12(土)~04/25(金)》	
		【社会で起きている変化】	心を集めているのかなど、社会で起きている変化を知り、デー
		・経営学・マーケティングの観点から(新美 潤一郎:経営)	タサイエンスや AI を学ぶことの意義を理解することを目標とす
		・ビッグデータ(山本 修身:情報工)	る. 事前に教科書 1-13 ページを読み、講義後には指示した課題
	2.	・データサイエンティストの役割(齊藤 公明:理工)	を解くこと.
			キーワード: Society 5.0, 第 4 次産業革命, データ駆動型社会,
			AI と労働
		//李原珠美世界 2025/04/40 /土〉 21/25 /仝〉	
		《遠隔講義期間:2025/04/19(土)~04/25(金)》 【活用事例1(社会科学分野)】	経営学,経済学,地域分析などの分野において,データサイエンスや AIがどのように利活用されているのか,それぞれの分野での実際
		・経営学・マーケティングの事例から(新美 潤一郎:経営) ・社会科学(経済学)における活用事例(焼田紗:経済)	の活用事例を学習する.事前に教科書 95 - 99 ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと.
	3.	・都市分析の視点からの活用事例(杉浦 伸:都市情報)	キーワード:マーケティング、ファイナンス、マクロ経済モデル、都市計画、RESAS
			ル、郁印計画、RESAS
	-	《遠隔講義期間:2025/04/26(土)~05/09(金)》	法学・政治学、心理学、教育、文学などの分野において、分野
		【活用事例2 (法・人文学分野)】	において、データサイエンスやAIがどのように利活用されてい
		・法律学,政治学におけるデータサイエンスの応用(前田 智	るのか、それぞれの分野での実際の活用事例を学習する。
		彦:法)	事前・事後学習:関連する教科書1-34ページを事前に読んで授
		・心理学における活用事例(原田 知佳:人間)	業に臨むこと、担当教員から指示した講義前・後の課題を確認
		・言語分析における AI・データサイエンスの活用(西尾 由里、	し取り組んだ上で、小テストを受験すること。
		藤原康弘:外国語)	キーワード:世論調査、実態調査、心理データ解析、ビッグ
	4.		データ、SNSデータの分析、言語データ分析、コーパス、自動音
			声認識,自動翻訳
			7 mo-movi == 202 m31 m <
		《遠隔講義期間:2025/05/10(土)~05/16(金)》	理学、工学、情報工学などの分野において、データサイエンス
		【活用事例3(理工学分野)】	やAIがどのように利活用されているのか、それぞれの分野での
		・画像認識での活用事例(堀田 一弘:理工)	実際の活用事例を学習する.事前に教科書 197 - 206ページを読
		・音声処理での活用事例(坂野 秀樹:情報工)	み、講義後には指示した課題を解くこと.
	5.	・その他の活用事例(米澤 弘毅:情報工)	キーワード:画像処理,音声処理,SNSデータ
		//	
		《遠隔講義期間:2025/05/17(土)~05/23(金)》 【活用事例 4 (生命科学、茶学公野)】	生命科学、薬学、医学などの分野において、データサイエンス
		【活用事例4(生命科学、薬学分野)】	や AI がどのように利活用されているのか、それぞれの分野での 実際の活用事例を学習する。実前に教科書 206、216 ページを基
		・ゲノム解析・遺伝子工学(兒島 孝明:農)	実際の活用事例を学習する。事前に教科書 206 - 216 ページを読む、業業後にはたました理解を紹えるよ
		・薬学分野の活用事例 1 (大津 史子:薬)	み、講義後には指示した課題を解くこと. キーロード・ゲノル解析、満年子工学、ランダルルド前宝院
	6.	- 薬学分野の活用事例 2 (大津 史子:薬)	キーワード:ゲノム解析,遺伝子工学,ランダム化比較実験, 医薬品開発,医療ビッグデータ・レセプトデータ
			企本IIIIが元、
		《遠隔講義期間:2025/05/24(土)~05/30(金)》	データを可視化する様々な手法と可視化されたグラフの読み方
		【データを可視化する】	を学び、起きている事象の背景や意味合いを理解する。グラフ
		・データの可視化(焼田紗:経済)	にはさまざまな種類があり、それぞれの特徴やどのような場合
		・データとデータセットの種類(焼田紗:経済)	に使用するかについて学び、適切な可視化方法を選択して他者
		・適切なグラフの使い方(焼田紗:経済)	に説明できることを目標とする. 事前に教科書 44 - 46, 75 - 80
			ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと
	7.		キーワード:時系列データ、横断面データ、いろいろなグラ
			フ、関係の可視化、地図上の可視化
	-	•	

授業計画	8.	《遠隔講義期間:2025/05/31(土)~06/06(金)》 【度数分布,ヒストグラム、分割表】 ・データの種類とクロス集計(勝浦正樹:経済) ・度数分布表とヒストグラム(勝浦正樹:経済) ・ローレンツ曲線とジニ係数(勝浦正樹:経済)	量的データと質的データなどの違いを踏まえた上で、質的データをクロス集計表に、量的データの度数分布表に集計する方法を説明し、そこから何を読み取ることができるのかを身に着ける。さらに、ローレンツ曲線とジニ係数による所得格差の分析方法を説明し、実際のデータに応用できるようにする。事前に数料書44-49、81-82、117-120ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと・キーワード:データの種類、クロス集計、度数分布、ヒストグラム、分割表、ローレンツ曲線とジニ係数
	9.	《遠隔講義期間:2025/06/07 (土) ~06/13 (金)》 【代表値、散らばり】 ・データの代表値:平均値、中央値、最頻値(勝浦正樹:経済) ・散らばりの尺度:分散・標準偏差、変動係数(勝浦正樹:経済) ・箱ひげ図の描き方と解釈(勝浦正樹:経済)	データの代表値としての平均値、中央値、最頻値の算出方法や特性と、それらの代表値の関係を理解する。さらに、散らばりの尺度としての分散・標準偏差、変動係数などについて学習し、それらが実際のデータでどのように利用されているのかを説明する。また、四分位数・四分位範囲を提示した上で、データの可視化の方法として、新ひけ図の作成方法と解釈について学習する。事前に教科書50-56、114-117、121ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと、キーワード:平均値、中央値、最頻値、分散・標準偏差、四分位範囲、外れ値、箱ひげ図
	10.	《遠隔講義期間:2025/06/14(土)~06/20(金)》 【相関と回帰】 ・2変量の関係と相関(鳥居 弘志:経営) ・単回帰分析1(鳥居 弘志:経営) ・重回帰分析2(鳥居 弘志:経営)	2 変量の関係の把握の必要性について示し、その分析方法として、散布図、相関係数、回帰直線の導出、変数変換を用いた回帰分析などについて説明する、さらに、相関関係と因果関係の違いについても例示する、事前に教科書 56-71、82-87、121-126 ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと、キーワード:散布図、共分散と相関係数、最小2乗法、回帰直線、残差プロット、決定係数
	11.	《遠隔講義期間:2025/06/21(土)~06/27(金)》 【母集団と標本、推定・検定の考え方】 ・母集団と標本、統計的推定(鳥居弘志:経営) ・仮説検定1(鳥居弘志:経営) ・仮説検定2(鳥居弘志:経営)	母集団と標本の考え方を理解した上で、データを収集する際の標本抽出について学習する、さらに、統計的推定や仮説検定の 考え方の基礎を学び、区間推定と仮説検定の活用事例を通して 具体的な計算方法を学習する、事前に教科書 73 - 75 ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと、 キーワード:無作為抽出、信頼区間、仮説検定、帰無仮説と対立仮説、第1種・第2種の過誤、有意水準、有意確率(p値)
	12.	《遠隔講義期間: 2025/06/28 (土) ~07/04 (金)》 [Rの使い方] ・Rの使い方(1) (山本修身:情報エ) ・Rの使い方(2)・(3) (米澤 弘報:情報エ)	統計解析ソフトであるRの基本的な操作方法を学習し、Rのコマンドを使って、簡単なデータ分析ができることを目標とする、Rのインストールの方法、データの読み込み、度数分布やヒストグラムの作成、基本統計量の計算、回帰分析などについて例示し、自分のPC を用いて実際にRによる計算ができることを目標とする。事前に教科書の4.2 節(pp. 126-143)を読み、講義後には指示した課題を解くこと、キーワード:R,データファイル、関数の使い方
	13.	《遠隔講義期間: 2025/07/05 (土) ~07/11 (金)》 【データサイエンスにおける留意事項】 ・留意事項全般の話(松本 俊太:法)・研究倫理(松本 俊太:法)・個人情報・ブライバシー保護・著作権保護(庄村 勇人:法)	データサイエンスにおける様々な留意事項について学ぶ、まず、データサイエンスができることとできないこと、および、研究を行う際に留意すべき ELSI という考え方を学ぶ、つづいて、その一部である、研究倫理の問題と、データの利活用に関連する法律やルール(個人情報保護・著作権など)について理解する。事前に教科書 14・21、23・25 ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと・キーワード: 演繹法・帰納法・ELSI・研究倫理・ブライバシー権・個人情報保護法・著作権法
	14.	法)	データ、とくにビッグデータやAIの利活用が社会で広まっていることによって起こっている諸問題について知る。法的・倫理的な観点からは、ブライバシー保護や差別といった人権の問題など、情報学・エ学の観点からは、ビッグデータやAIの濫用・誤用や情報セキュリティについて学ぶ、事前に教科書21-23、26-30ページを読み、講義後には指示した課題を解くこと、キーワード:データバイアス・AIの透明性と説明可能性・AIと差別・情報漏洩・暗号化技術
	15.	《遠隔講義期間:2025/07/19(土)~07/25(金)》 【講義全体の総括、振り返り】 勝浦正樹(経済)、山田 宗男(情報エ)	講義全体を振り返るとともに、AI活用の最新事例に触れて、AI活用人材になるために必要な知識・スキルについて考察する。また、発展的な学習についての方向づけを行う。

	【書籍名】	【著者】	【出版社】
	1. データサイエンス入門 第2版	竹村 彰通、姫野 哲人 ほか	学術図書出版社
-1	2.		
テキスト	3.		
	4.		
	5.		
		•	
	【書籍名】	【著者】	【出版社】
	1. 教養としてのデータサイエンス	北川 源四郎,竹村 彰通 ほか	講談社
	。 基礎から学ぶデータサイエンス講座: スケ		同友館
	^{2.} にできて、ビジネスに利く		
参考文献	3. AIリテラシーの教科書	浅岡伴夫, 松田雄馬 ほか	東京電機大学出版局
	エクセルで学習するデータサイエンスの 4.	基 岡田朋子	近代科学社
	4.		
	5. おとなの教養3: 私たちは、どんな未来を	生 池上彰	NHK出版新書
	きるのか?		
	Fau		
授業方法の形式	講義/演習/自習課題		
極拳の気が大さ	法原課業(MahClass/ニレフナンデランドナー		
授業の実施方法	遠隔講義(WebClassによるオンデマンド方式)	
	L = - L		
	・ 小テスト40%, 定期試験60%で評価する.	のようことという世界をします	
成績評価方法	・小テスト、定期試験は何れも、WebClassで ・ただし、出席回数が3分の2に満たない場		
八根計 八広	・たたし、山吊回数かる方のとに向たない場	1日は久俗とする。	
			•
	C(合格)となるためには、到達目標を最低	限達成することが必要である。	
成績評価基準			
	「データ」の急速な利用拡大にとれない。デ	プータサイエンフの公野が 与 油にサナしる	ており、この影響は、文系・理系を問いませ
	・データ」の忌迷な利用拡入にこもない、デ ん。データの利活用に関する最低限の理解は		
	的な事項を修得したことになります。この講		
受講生へのメッセージ	本的な理解を深めて下さい		7,
	表示名 URL	説明	
	データサイエンス・ https://www.stat.go		
	スクール /dss/index.html	データの活用方法や	
	1.	統計に関する知識を	
**!IDI		いつでも学べる学習サイト	
参考URL	オ会人のためのデー https://sssss.sss/st		
	社会人のためのデー https://gacco.org/st タサイエンス入門 iapan/	ボータサイエンスに	
	2. 3 9 1 ± 2 × X 1 1 Japan/	関するオンライン講	
		座	
	3.		



(経営学部 経営学科)



(経営学部 国際経営学科) 1 年 2 年 3 年 4 年 前 期 後期 前期 後期 前 期 後 期 前期 後期 → 現代経営管理論 生産管理論 一凡例 経 キャリア・デザイン論 人的資源管理論 ▼ ワーク・ライフ・バランス論 環境経営論 営 必修科目 経営組織論 学 現代企業論 選択科目 経営学入門 部 専門基礎部門 経営史 門 経営戦略論 マーケティング入門 マーケティング論 グレード履修(段階履修)が必須:左側の科目を先取 国際比較経営史 国際経営戦略論 玉 国際流通論 国際マーケティング論 際 → グレード履修(段階履修)が望ましい 経 国際経営論 国際貿易論 営 関連科目:グレード履修(段階履修)でなくても良い 国際経済論 アメリカ企業論 アメリカ経済論 専 経 EU経済論 現代経済入門 EU企業論 (特Ⅰ)(特Ⅱ)は毎年開講されるとは限りません。 済 学 中国経済論 中国企業論 部 アジア経済論 アジア企業論 門 国際ファイナンス Ⅰ 国際ファイナンス Ⅱ 門 会 中級簿記 基本簿記 上級簿記 I 上級簿記Ⅱ 計 管理会計論 I 管理会計論Ⅱ 工業簿記 原価計算論 社会環境会計論 フ 会計学入門 ア 教 イ 財務会計論 I 財務会計論Ⅱ 非営利組織体会計論 ナ 経営分析論 ン 上級簿記Ⅱ 金融論 金融商品取引論 ス *上級簿記 I・II は中級簿記レベルの知識があれば1年次から履修可能 部 育 門 ファイナンス入門 企業財務論 財務戦略論 国 国際関係論 海外NGO論 国際コミュニケーション論 域 国際地域文化研究(英語图/フランス/中国) 国際地域文化研究(フランス/中国) 経営科学I 経営科学Ⅱ - 経営シミュレーション 部 ・情報部門 意思決定の科学 統計学I 統計学Ⅱ 統計学応用 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用基礎 I データサイエンス・AI応用基礎 Ⅱ 情報システム論 システム設計 法]学 ミクロ経済学入門 現代産業組織論 マクロ経済学入門 門 社会思想史 部 <u>会社法入門</u> 実 (特Ⅱ)国際フィールドワークⅡ 国際フィールドワーク 務 インターンシップ〈集中〉 海外語学実習〈集中〉 (特 I)海外インターンシップ 〈集中〉 実 (特Ⅰ)キャリア特論 職業指導論 習 (特 I)愛知県社会保険労務士会寄附講座 部 門 (特 I)起業講座Ⅱ (特 I)起業講座 I 基礎ゼミナール 〈通年〉 専門ゼミナール I 〈通年〉 専門ゼミナールⅡ〈通年〉 専門ゼミナールⅢ〈通年〉 部ナー * 専門ゼミナールⅢは、I を修得済かつⅡを修得済または履修中の場合のみ履修可能 (特Ⅱ)特別研究A 〈通年〉 (特Ⅱ)特別研究B 〈通年〉

: 必修科目 1 年	: 関連性がある	2年		★学 ⁴	Fはその学年以降受講可能となる学年を示 3・4年
基軸科目群 現代社会に生きる		2.7			0 44
人文科学科目群 哲学 倫理学 文学 芸術文化論 外国史 日本史	社会科学科目群 社会学 政治と社会 ジェンダー論 経営学 法学 日本国憲法				
地理学 地誌学 文化人類学 宗教の世界 心の科学	自然科学科目群 数学 化学 生物学 宇宙·地球科学				
	環境学				
英語科目群	10-11 or	******		#IIWA 1	###WA #
英語 I 英語Ⅲ(コミュニケーション)	英語Ⅱ 英語Ⅳ(コミュニケーション)	英語V 英語VII	英語VI 英語VII	英語総合 I	英語総合 II
第二外国語科目群					
フランス語 I フランス語 II	フランス語II フランス語IV				
ドイツ語 I ドイツ語 II	ドイツ語II ドイツ語IV				
中国語 I 中国語 II	中国語Ⅲ中国語Ⅳ				
コリア語 I コリア語Ⅱ	コリア語II コリア語IV				
日本語Ⅱ		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ			
情報科学科目群					
コンピュータリテラシー 情報社会と倫理	情報活用リテラシー	情報処理入門			
データサイエンス・AI 入門	データサイエンス・AI 応用基礎 I	データサイエンス・AI 応用基礎Ⅱ			
健康・スポーツ科学科目群 健康・スポーツ科学 I	健康・スポーツ科学Ⅱ	健康・スポーツ科学Ⅲ 健康・スポーツ科学V(スキューバ・スキー) 健康科学論	健康・スポーツ科学Ⅳ		
キャリア教育科目群					
キャリア形成論				職業指導論	
教養演習科目群 教養演習(日本語表現)					

: 必修科目 1 年	:関連性がある	2年			その学年以降受講可能となる学年を示 4年
上華 基軸科目群 現代社会に生きる		2年		3.	4 +
人文科学科目群 哲学	社会科学科目群社会学				
倫理学 文学	政治と社会 ジェンダー論				
芸術文化論	経営学				
外国史	法学				
日本史 地理学	日本国憲法				
地誌学	自然科学科目群				
文化人類学	数学				
宗教の世界 心の科学	化学 生物学				
3-5113	宇宙・地球科学				
	自然地理学				
	環境学				
英語科目群	that or	******		THETANA T	###WA #
英語 I 英語Ⅲ(コミュニケーション)	英語Ⅱ 英語Ⅳ(コミュニケーション)	英語V 英語VI 英語VI 英語VII		英語総合 I	英語総合Ⅱ
第二外国語科目群					
フランス語 [フランス語皿				
フランス語 🛚	フランス語Ⅳ				
ドイツ語 I ドイツ語 II	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ				
	中国語Ⅲ				
中国語Ⅱ	中国語Ⅳ				
コリア語 I コリア語Ⅱ	コリア語II コリア語IV				
日本語 I	197 miv	日本語Ⅲ			
日本語Ⅱ		日本語以			
情報科学科目群					
コンピュータリテラシー	情報活用リテラシー	情報処理入門			
情報社会と倫理 データサイエンス・AI 入門	データサイエンス・AI 応用基礎 I	データサイエンス・AI 応用基礎Ⅱ			
	アータリイエンス・AI JM用至版 I	プープソイエンス・AI IM用型硬 I			
健康・スポーツ科学科目群			√√√		
健康・スポーツ科学 I	健康・スポーツ科学Ⅱ	健康・スポーツ科学V(スキューバ・スキー) 健康科学論			
キャリア教育科目群					
キャリア形成論				職業指導論	
教養演習科目群					
教養演習(日本語表現)					

		在工了	部 数字件(1~4年)			授耒 件日復修杀机		(2025	¥度入学生から適用)
		必修 科目	選択必修科目 選択科目						
_			年	24	₹	3年	Ε	4年	
部門	門	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総		英語コミュニケーション I ーードイツ語 I フランス語 I 中国語 I	英語コミュニケーション II ドイツ語 II フランス語 II 中国語 II	英語コミュニケーションⅢ ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ 中国語Ⅲ	英語コミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV	ブラクティカル・イング リッシュ I	ブラクティカル・イングリッシュⅡ		
合 基 礎	<u> </u>	体育科学Ⅰ	体育科学Ⅱ	体育科学Ⅲ —	体育科学Ⅳ				
部門	ß ∃	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I	アジア文化論 I 欧米文化論 I	アジア文化論 II 欧米文化論 II	国際関係論 文学 日本国憲法	国際経済論 心理学		
		基礎ゼミナールI	基礎ゼミナールⅡ						
· 中田	理工学基礎科目	 微分積分 I 微分積分 I 演習 線形代数 I 線形代数 I 線形代数 I 演習 数学序論 I コンピューターリテラシーデータサイエンス・AI入門 物理学 I 数学基礎演習 I 化学 基礎演習 I 化学基礎演習 I ※合数理基礎演習 I サイエンス・ボランティア入門 I 情報科学 I 	微分積分Ⅱ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ 線形代数Ⅱ 線形代数Ⅱ 線形代数Ⅱ 海野字論Ⅲ 数学序論Ⅲ 物理学演習 化学Ⅱ 数学基礎演習Ⅱ 化学基礎演習Ⅱ セ学基礎演習Ⅱ サイエンス・ボランティア入門Ⅱ サイエンス・ボランティア入門Ⅱ 11	────────────────────────────────────	── ── ── ── ── ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	探究活動入門 II 数理物理学 I 情報科学II 情報科学II 「情報本ットワーク論 パターン情報処理論	数理物理学Ⅱ 情報科学Ⅳ アルゴリズム・データ構造 論 経営情報論		
門教育部門	数			微分積分IV 線形代数II 線形代数IV 解析学 I	解析学工	解析学Ⅲ 解析学Ⅳ	人間情報処理論 解析学V 解析学VI	— 解析学™	解析学Ⅷ
	学 専 門		<u> </u>	—— 代数学 I	代数学Ⅱ	代数学Ⅲ 代数学Ⅳ	代数学V 代数学VI	──────────────────────────────────────	代数学哑
	教 育 科			────────────────────────────────────	幾何学Ⅱ	幾何学Ⅲ 幾何学Ⅳ	幾何学Ⅵ 幾何学Ⅵ	─────────────────────────────────────	幾何学Ⅷ
	目		<u> </u>	数理情報I	数理情報Ⅱ	数理情報III 数理情報IV	数理情報 V 数理情報 Ⅵ 数理情報 Ⅵ	─ 数理情報™	数理情報Ⅷ
				計算機科学 I	計算機科学Ⅱ	計算機科学Ⅲ 計算機科学Ⅳ	計算機科学 V 計算機科学 VI		
							数学研究	→数学講	究
			<u> </u>	情報社会と情報倫理情報技術の応用と職業	····数学通論 I	数学通論Ⅱ	[教職研究 I] 教職研究 I]		
	その他		データサイエンス・AI応用基礎	データサイエンス・AI応用基礎					

	Į.	必修科目	選択必修科目	選択科目 □・□・□・ 自	由科目				
			年		4		F	45	
部門	系	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		英語コミュニケーション【	— 英語コミュニケーションⅡ -	− 英語コミュニケーションⅢ −	英語コミュニケーション▼	プラクティカル・イングリッシュ [▼ フラクティカル・インクリッシュⅡ		
		ドイツ語 I	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語皿	ドイツ語Ⅳ				
		フランス語 I ー ー 中国語 I	ー フランス語 II ー 中国語 II	- フランス語Ⅲ	フランス語Ⅳ中国語Ⅳ				
	総		4 M 90 T	→ 1900 m	—————————————————————————————————————				
	合 其	体育科学 I	体育科学Ⅱ	▲ 体育科学Ⅲ ►	体育科学Ⅳ				
	礎				11 12 11 2 ==				
	部	人文科学基礎 I	人文科学基礎Ⅱ	アジア文化論 Ι	アジア文化論 Ⅱ	国際経済論	国際関係論		
	門	社会科学基礎Ⅰ	社会科学基礎Ⅱ	欧米文化論 I	欧米文化論Ⅱ	心理学	文学		
						職業指導論	日本国憲法		
		基礎ゼミナール I	基礎ゼミナール Ⅱ						
		微分積分I	微分積分Ⅱ						
		線形代数Ⅰ	線形代数Ⅱ						
		物理学 [物理学Ⅱ	地学 I	- 地学Ⅱ	地学実験Ⅰ	地学実験Ⅱ		
			物理学演習						
		物理学実験 I	- 物理学実験 Ⅱ						
	理	化学 I	化学Ⅱ						
	工 学	化学実験I	化学実験Ⅱ						
	基		生物学	生物学実験					
	基礎	理工学概論		-	技術者倫理				
	科 目	コンピューターリテラシー		データサイエンス・AI入門					
		*************************************	1						
		数学基礎演習Ⅰ	数学基礎演習Ⅱ						
		物理学基礎演習 I — — 化学基礎演習 I — —	→ 物理学基礎演習 II - 化学基礎演習 II						
		英語基礎演習Ⅰ	T						
		人	大山至啶庚日1						
		電気電子工学概論	電気基礎理論Ⅱ ・	・ 電気磁気学 I および演習 🕨	電気磁気学Ⅱおよび演習	電気磁気学Ⅲ			
車		電気基礎理論 I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ 電気回路 I および演習 -	電気回路Ⅱおよび演習	電気回路皿	电双磁双子皿			
門		日本の金ができます。	电风口叫 1000次日	電子回路A	電子回路B	電子回路C			
教育	電気電	コンピューターサイエンス			デジタル回路 I	デジタル回路Ⅱ			
部	基礎系	1	プログラミング I および演習	┫ プログラミング Ⅱ および演習					
門				電気計測					
				電気基礎理論Ⅲ ・	·· 制御工学 I ———	制御工学Ⅱ			
	5			電気基礎理論IV					
- E	ī				エネルギー変換・発生工学	エネルギー伝送工学	- 電力系統工学 -	■ 電気法規·施設管理	
	Ē 2-						高電圧工学	電気設計·製図	
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	電気工	学				電気機器工学	パワーエレクトロニクス		
	系				電気電子物性論I	電気電子物性論Ⅱ	電気電子物性論Ⅲ		
F	り 4					半導体工学 I	半導体工学Ⅱ		
	i						電気化学		
					組み込みシステム [および演習	組み込みシステムⅡおよび演習	データベース		
	声ラシ	7				電子計測	センサ・センシング		
	電子シ	<u> </u>				デジタル信号処理I	デジタル信号処理Ⅱ		
				基礎通信工学	- 通信システム	ネットワーク	電磁波工学		
						情報理論 情報理論			
	共通	電気電子ゼミナールⅠ		電気電子工学基礎実験	電気電子工学実験I	電気電子工学実験Ⅱ	電気電子工学実験Ⅲ	卒業	研究
	八四						電気電子ゼミナールⅡ		
	その他		データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 Ⅱ					
		L			i .	ı	•		

		8科目 選択必修科目							
±n 88	<i>z</i> .		後期	24 ***#	<u>♥</u> 後期		年	前期	後期
名	※合基	世界 英語コミュニケーション I ディツ語 I フランス語 I 中国語 I 体育科学 I	接州 - 英語コミュニケーションⅡ - ドイツ語 Ⅱ - フランス語 Ⅱ - 中国語 Ⅱ	前期 - 英語コミュニケーションⅢ - ドイツ語Ⅲ - フランス語Ⅲ - 中国語Ⅲ - 体育科学Ⅲ -	接州 英語コミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV	刊列 プラクティカル・イングリッシュ I		FII 70 1	仮 朔
福音	楚 邻 明	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール I	人文科学基礎 II 社会科学基礎 II 基礎ゼミナール II	アジア文化論 I 欧米文化論 I	アジア文化論 Ⅱ 欧米文化論 Ⅱ	国際経済論 心理学 職業指導論	国際関係論 文学 日本国憲法		
	理工学	微分積分 I線形代数 I物理学 I物理学実験 I化学 I化学実験 I	- 微分積分Ⅱ - 線形代数Ⅱ - 物理学Ⅱ - 物理学演習 - 物理学実験Ⅱ - 化学Ⅱ - 化学実験Ⅱ - 生物学	地学 I 上	- 地学Ⅱ	地学実験Ⅰ	地学実験Ⅱ		
	基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー 数学基礎演習 I	数学基礎演習Ⅱ - 物理学基礎演習Ⅱ - 化学基礎演習Ⅱ - 英語基礎演習Ⅱ	データサイエンス・AI入門	技術者倫理				
専門教育部門電	電気電子基礎系	電気電子工学概論 電気基礎理論 I コンピューターサイエンス	電気基礎理論 I ・・・ 電気回路 I および演習 - ・・	電気回路Ⅱおよび演習 電子回路A	電気磁気学 II および演習 - 電気回路III 電子回路B デジタル回路 I 制御工学 I	電気磁気学Ⅲ 電子回路C デジタル回路Ⅱ 制御工学Ⅱ			
5. 電子工学専門科目	電気工学系				エネルギー変換·発生工学 電気電子物性論 I	エネルギー伝送工学 電気機器工学 電気電子物性論 I ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	電力系統工学 高電圧工学 パワーエレクトロニクス 電気電子物性論Ⅲ 半導体工学Ⅱ 電気化学	電気法規·施設管理 電気設計·製図	
	電子システム系	あと手 フ (***********************************		基礎通信工学	組み込みシステム「および演習」	組み込みシステム II および演習 電子計測 デジタル信号処理 I ネットワーク 情報理論	データベース センサ・センシング デジタル信号処理 II 電磁波工学	-de Silo-	
	共通	電気電子ゼミナール I		電気電子工学基礎実験	電気電子工学実験Ⅰ	電気電子工学実験Ⅱ	電気電子工学実験Ⅲ 電気電子ゼミナールⅡ	卒業	讲 究
- 4	その他		データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 II					

		必修科目 選択必修科目	選択科目	自由科目					
### ### ### ### #### ################	±0.88 ₹				-				
### 1	部门 杀							用II 共	仮判
1									
		フランス語 I	100000000000000000000000000000000000000	500000000000000000000000000000000000000					
日本日中日	442	中国語I	中国語Ⅱ	中国語瓜	中国語IV				
A 25年を経過									
A 大名中等等		体育科学Ⅰ	体育科学Ⅱ	┣━━┃ 体育科学Ⅲ ┣━━	体育科学Ⅳ				
	部	人文科学某礎Ⅰ	人文科学某礎Ⅱ	アジア文化論Ⅰ	アジア文化論Π	国際関係論	国際経済論		
日本ではアール1 日本ではアール2 日本ではアール	門			_	! - 	1 1	:		
### 1									
株子 株子		基礎ゼミナール Ι	基礎ゼミナールⅡ			職業指導論			
株式学生 株式学 株式									
新聞子 新聞子									
				₩党Ⅰ	₩学Ⅱ				
10		127-44-00 ±							
1		物理学実験Ⅰ							
# 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	理		化学Ⅱ						
本の日本に、		化学実験 I							
### 1		TH 24 HI - 6	生物学	├── │ 生物学実験 │	++4r ± /Δτα				
日本					技術有柵理	データサイエンス・Δ1入門			
特別学者提供的		1) L 1 / // // /				7 791 E3X AIX[1]			
中央制度		数学基礎演習 I	→ 数学基礎演習 Ⅱ						
(大学教教教育									
京川田田中 京川田田田中 京川田田田中 京川田田田中 京川田田田田 京川田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		化学基礎演習 ↑ ★	—- 化学基礎演習 II i						
10		! 英語基礎演習 I	━ 英語基礎演習Ⅱ						
一		大田物学 I	_	広田粉学Ⅲ					
第2	材材			10/11XX T III					
# 2	料		電磁気学Ⅰおよび演習	電磁気学Ⅱおよび演習					
# 日本	専 能								
新田 新田 新田 新田 新田 新田 新田 新田									
「	育		上業刀字						
東京	門門	製図基礎		M/J/T	小作品(ハンユ				
電気回路および演習 電子回路設計・製作 デジタル電子回路 単海体デバイス 単一導体を建造 単一導体工学 新品材料 新品成長 新品成長 新品成科 新品成長 新品成科 新品成科 新品成科 新品成科 新品成科 新品成科 新品成科 新品成科	4材理物用品					真空工学	表面工学		
マナログ電子回路 単導体基礎論 半導体工学 総品成長 総品成長 統品成長 統品成長 統品成長 統語成氏長 統語成氏長 統語成氏長 統語成氏長 統語和科 統語和 統語和工 機械加工 機械双工 機械双工 機械投計・製図 根板の子 が非確能 ボード 統裁科列が析・評価法 分析化学 分析化学 株料機能工学模論 材料機能工学模論 材料機能工学模論 材料機能工学模論 材料機能工学模論 材料機能工学模論 材料機能工学模論 本業研究 本業研究 大規模能工学模論 大規模能工学模論 大規模能工学実験II 大規模能工学実験II 大規模能工学実験II 大規模能工学実験II 人工程技術 工業研究 工具工程技術 工具工程技術 工具工程技術 工具工程技術 工具工程技術 工具工程技術 工具工程 工程			電気回路および演習	電子回路設計·製作		<u> </u>			
						量子エレクトロニクス			
新品成長 新品成長 一	料口								
数額材料 合金材料 挽給材料 高分子材料 移稿加工 機械放計・製図 様様放計・製図 様様が料分析・評価法 分析化学 大衛代学 大衛代学 大利機能工学実験II 材料機能工学実験II 材料機能工学実験II 材料機能工学実験II 材料機能工学実験II 大衛技術	スク								
複合材料 高分子材料 本稿加工 海融加工 機械放工 機械放計・製図 「カイル 大力・データス材料 分析・評価法 分析化学 大利機能工学機論 和料機能工学実験II 本業研究 大当機能工学実験II 本業研究 大当機能工学実験II 大当機能工学実験II 本業研究 大当技術	材				24 AC ++ 1/4				
結晶型性学					数調材料				
材料強度学 接板加工 溶融加工 接板設計・製図	材						16137 7 33,44		
上									
TL/クトロニクス材料 分析・評価法 機械材料分析・評価法 分析化学 分析化学 大井 材料機能工学実験II 材料機能工学実験II 材料機能工学実験II 大井 材料機能工学実験II 大井 大井 大井 大井 大井 大井 大井									
ボボーギ ボー									
共	解価料					エレクトロニクス材料・分析・評価法			
通 材料機能ゼミナール 先端技術	771 * 評								
	共	材料機能工学概論		科学技術リテラシー	材料機能工学実験Ⅰ	材料機能工学実験Ⅱ		卒業	
							材料機能セミナール		先端技術管理
データサイエンス・AI応用基礎I ナーー データサイエンス・AI応用基礎II	の		データサイエンス・AI応用基礎I —	データサイエンス・AI応用基礎II					
	113	<u>l</u>		<u> </u>	<u> </u>		!	<u> </u>	!

[业 必修科目 選択必修科目 1年	選択科目	」 」自由科目	年	3	年	4:	2025年度人字生週用)
	部門	前期		_ 前期	後期	 前期	後期	前期	後期
	総合基礎部門	英語コミュニケーション I ドイツ語 I フランス語 I 中国語 I 人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I	英語コミュニケーションⅡ ドイツ語 Ⅱ フランス語 Ⅱ 中国語 Ⅱ 人文科学基礎 Ⅱ 社会科学基礎 Ⅱ 体育科学 Ⅱ	英語コミュニケーションⅢ ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ 中国語Ⅲ アジア文化論 I 欧米文化論 I 体育科学Ⅲ	英語コミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV 中国語IV 中国語IV 体育科学IV	ブラクティカルイングリッシュ I 国際関係論 文学 日本国憲法 職業指導論	ブラクティカルイングリッシュ II 国際経済論 心理学		
	田社酔幣最上語	 微分積分 I 線形代数 I 物理学 I 物理学実験 I 化学 I 化学 I 化学 I エンピューターリテラシーデータサイエンス・AI入門数学基礎演習 I 物理学基礎演習 I 化学基礎演習 I 英語基礎演習 I 	微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ 物理学Ⅱ 物理学演習 物理学実験Ⅱ 化学Ⅱ 化学実験Ⅱ 生物学 数学基礎演習Ⅱ 物理学基礎演習Ⅱ 大学基礎演習Ⅱ 英語基礎演習Ⅱ	地学 I 地学実験 I 生物学実験	地学工地学実験Ⅱ 技術者倫理				
	合成化学	有機化学基礎	有機化学Ⅰ	有機化学Ⅲ	高分子化学 I 錯体化学	高分子化学II コロイド化学 生化学	高分子材料 生活支援化学		
	物質・材料化学		物理化学基礎 量子化学 I	物理化学 I 物理化学 I 电子化学 II	物理化学演習 量子化学演習 化学結晶学 物質構造学	真空工学 物性化学	表面工学		
専門教育部門	環境エネルギー 材	無機化学基礎	無機化学 I	無機化学演習	電気化学	触媒化学 	エネルギー化学 電子材料 環境材料 金属材料		
	共通	応用化学数学	安全工学	分析化学 実験基礎論 応用化学実験 I	化学工学 製図基礎 応用化学実験 II	機器分析 分光化学 分離精製工学 流動現象学 科学表現論 応用化学実験Ⅲ	先端技術管理 応用化学ゼミナール 応用化学実験IV	卒業	研究
	他 の	- F	ータサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 II					
	٧,	<u> </u>			!				

	必修科目 選択必何	§科目 ■ 選択科目	· • · • · • 自由科目					`	2025年度人字生週用)
		年	24	-		35		45	
部門 系	前期	後期 英語コミュニケーション Ⅱ	前期	後期		前期 一 ブラクティカルイングリッシュ I	後期 ──ブラクティカルイングリッシュⅡ ──	前期	後期
総	英語コミュニケーション I トイツ語 I フランス語 I 中国語 I	・ 大部 エーケーション II デイツ語 II フランス語 II 中国語 II	英語コミュニケーションⅢ ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ 中国語Ⅲ	英語コミュニケーションIV - ドイツ語IV - フランス語IV 中国語IV			2393430042233244		
合 基 礎	体育科学I	体育科学Ⅱ	体育科学Ⅲ	体育科学Ⅳ					
部門	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I	アジア文化論 I 欧米文化論 I	アジア文化論 I 欧米文化論 I		国際経済論 心理学 職業指導論	国際関係論 文学 日本国憲法		
	基礎ゼミナールI	基礎ゼミナールⅡ							
	微分積分 I 線形代数 I 物理学 I 物理学実験 I 化学 I	微分積分 I	地学I	地学工		− 地学実験 I	地学実験Ⅱ		
理工学基礎	化学実験 I	化学実験 I 生物学	生物学実験	技術者倫理					
科 目 日	コンピューターリテラシー データサイエンス・AI入門 数字基礎演習 I 物理学基礎演習 I 化学基礎演習 I 英語基礎演習 I	— 数学基礎演習 I							
			応用数学 I	応用数学 I電磁気学基礎電子工学			一 機械技術者倫理	技術英語	
専門教育部門	機械工学概論		機械工学実習		L	新技術概論 インターン 機械工学実験 機械設計		卒業	研究
		コンピュータープログラミング	コンピューターシミュレーション			データ解析工学 CAE	計測工学		
設計・生	機械設計基礎		機械設計Ⅰ	機械設計Ⅱ]			
産			機械加工学	塑性加工学		一 生産加工学 十	生産管理		
制 御		機構学	機械力学Ⅰ	機械力学Ⅱ	L	機械振動学制御工学Ⅰ	━ 制御工学Ⅱ		
熱・流体			熱力学 I	熱機関工学		一 伝熱工学	熱力学Ⅱ		
			流体力学Ⅰ	─ 流体力学 I		流体機械	応用流体力学		
材料・強度		機械材料	材料力学Ⅰ	材料力学Ⅱ		一 材料強度学 I 十	材料強度学Ⅱ		
他の		データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 II						

					* 1515	技术竹口腹 惨求机囚		(2025)	F度入学生適用)
		■ 必修科目		選択科目 2	自由科目 2 年	34	F I	4年	
部門 系		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合基礎部門		英語コミュニケーション I ドイツ語 I フランス語 I 中国語 I 人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール I	英語コミュニケーション II ドイツ語 II フランス語 II 中国語 II 人文科学基礎 II 社会科学基礎 II 基礎ゼミナール II	英語コミュニケーションⅢ ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ 中国語Ⅲ 体育科学Ⅲ アジア文化論 I 欧米文化論 I	英語コミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV 体育科学IV アジア文化論 II 欧米文化論 II	プラクティカル・イングリッシュ I 国際経済論 心理学 職業指導論	プラクティカル・イングリッシュ II 国際関係論 文学 日本国憲法		
	理工学基礎科目	英語基礎演習 I 数学基礎演習 I 物理学基礎演習 I 化学基礎演習 I 化学基礎演習 I 化学基礎演習 I 総形代数 I 微分積分 I 物理学 I 物理学実験 I 化学 I 化学実験 I 理工学概論 コンピューターリテラシー データサイエンス・AI入門	英語基礎演習 II	地学 I 地学実験 I 生物学実験	地学工地学実験Ⅱ 地学実験Ⅱ 技術者倫理				
専門教育部門交通機械工学専門教育科目		→ 製図 I → → → → → → → → → → → → → → → → → →	工業力学 I 数値計算法 I	応用数学 I	応用数学Ⅱ 工業力学演習 材料力学Ⅱ 流体力学Ⅱ 熱力学Ⅱ 材料科学Ⅱ 機械要素 Ⅰ 制御工学 Ⅰ 数値計算法 Ⅱ	振動学	構造力学	空業研: ゼミナール 自動車工学皿 航空宇宙工学皿	₹
ft	実技科目		交通機械工学実習 I データサイエンス・AI応用基礎 :	で通機械工学実習Ⅱ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	交通機械工学実習Ⅲ —	機械工作法 計測工学 交通機械工学実験 I	交通機械工学実験Ⅱ		

	必修科目 選択必修	科目	-・-・- -・・自由科目 		3:			5年及八子生から適用)
部門 系	前期	年 後期	前期	年 後期	前期	年 後期		後期
総合基	財務 (英語コミュニケーション II ドイツ語 II フランス語 II 中国語 II 体育科学 II	英語コミュニケーション III リードイツ語 III フランス語 II 中国語 III 体育科学 II	英語リミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV	がラクティカル・イングリッシュエ	ブラクティカル・イングリッシュ II	841.749	(K.W)
一一一一	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール I	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール II	アジア文化論 I 欧米文化論 I	アジア文化論 I 欧米文化論 I	国際経済論 心理学 職業指導論	国際関係論 文学 日本国憲法		
理工学基礎科目	機分積分 1 線形代数 1 物理学主 物理学主 化学 I 化学 I 化学 I 化学 (表現) 第二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	機分積分耳 線形代数 I 物理学工 物理学演習 物理学実験 I 化学 I 化学 I 化学実験 I 生物学(教職) 数学基礎演習 I ・ 大部基健演習 I ・ 大部基健演習 I	地学 I 地学実験 I (教職) 生物学実験(教職)	地学I 地学実験I(教職) 技術者倫理				
専門教育部	機械設計基礎1	機械設計基礎2	機械設計・製図 機械力学 I 材料力学 I 流体力学 熱力学	機械力学 I	伝熱工学 機械加工学 医療機械工学 信号処理工学	自動車工学 ロボット工学 生産管理 画像処理工学	振動学 CAE	
専門科目	電気回路基礎 メカトロニクス概論	電子回路と部品	アナログ電子回路 電磁気学I 応用数学 I	電気設計・製図 電磁気学口	デジタル電子回路電気機器工学	パワーエレクトロニクス センサ・センシング	電気法規・施設管理計測工学	
	ラフトローク人機論 コンピュータープログラミング I	- [コンピュータープログラミングⅡ]	が用級子1 メカトロニクス数学演習 メカトロニクス基礎演習 コンピュータープログラミング皿 技術日本語	ルの用数子単 制御工学 I メカトロニクス実験 I メカトロニクス実験 I コンピュータープログラミング T	制御工学工 メカトロニクス統合演習 I メカトロニクス統合演習 I ネットワーク 技術英語	制御工学皿 メカトロニクス統合演習皿 メカトロニクス統合演習収]	研究
他 で の		データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎II			インターンシップ		

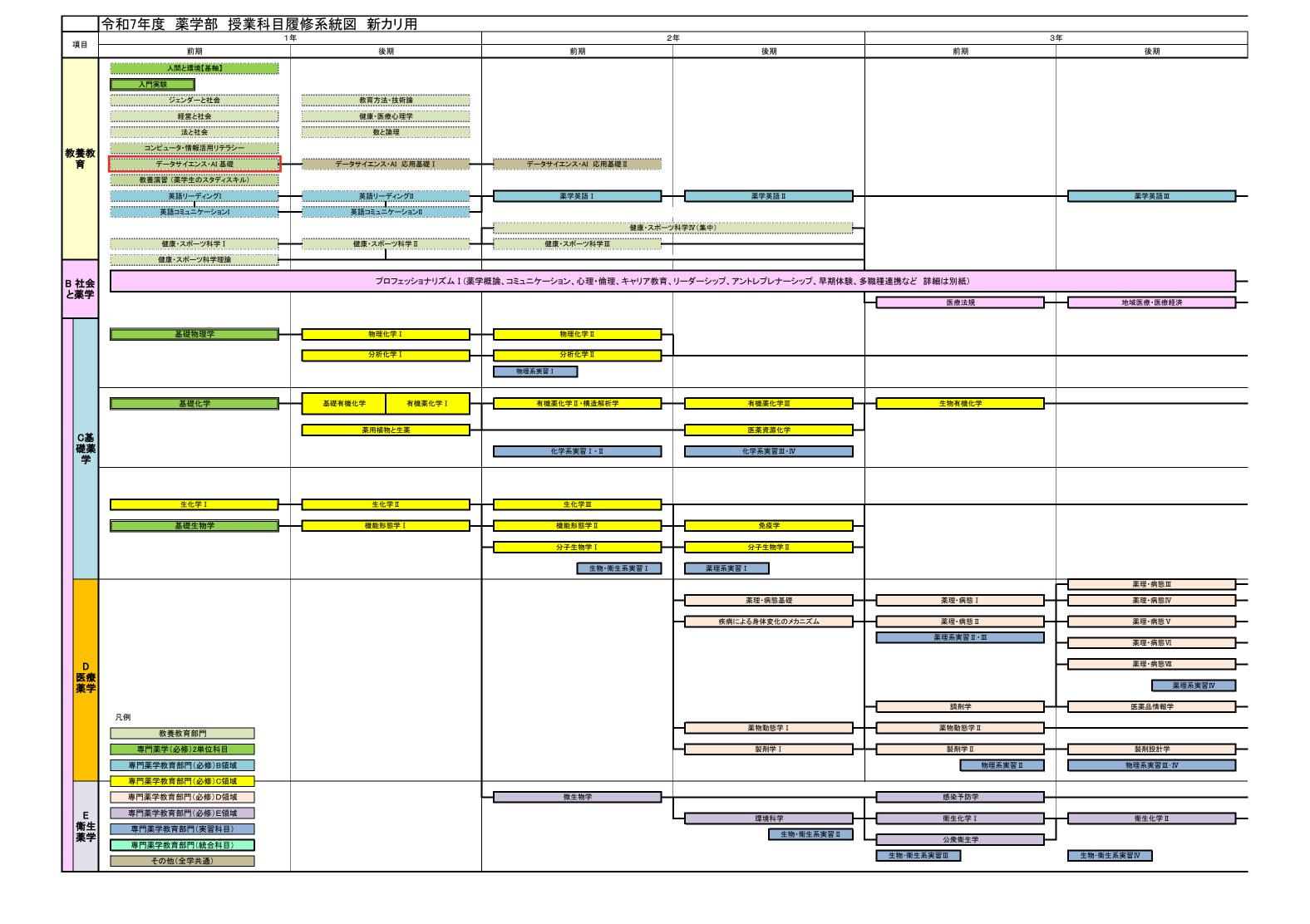
	必修科目 選択必修	ZINIII III					(2025年度入学生適用) 	
部門 系	15 前期	<u>₹</u>		年		8年 後期		年 後期
総合基	英語コミュニケーション Iドイツ語 Iフランス語 I中国語 I	英語コミュニケーション II ドイツ語 II フランス語 II 中国語 II		英語コミュニケーションIV ドイツ語IV フランス語IV 中国語IV	******	でか プラクティカル・イングリッシュ Ⅱ	194 UF	1文初
一礎部門	人文科学基礎 I 社会科学基礎 I 基礎ゼミナール I	人文科学基礎 II 社会科学基礎 II 基礎ゼミナール II	アジア文化論 I 欧米文化論 I	アジア文化論 II 欧米文化論 II	国際関係論 文学 日本国憲法 職業指導論	国際経済論 心理学		
理工学基礎科目	微分積分 I線形代数 I物理学 I物理学実験 I化学 I化学実験 Iエ学概論コンピューターリテラシーデータサイエンス・AI入門	- 微分積分Ⅱ - 線形代数Ⅱ - 物理学Ⅱ - 物理学演習 - 物理学実験Ⅱ - 化学Ⅱ - 化学里 - 生物学	生物学実験	地学Ⅱ 技術者倫理	地学実験 I	地学実験Ⅱ		
	数学基礎演習 I	参学基礎演習Ⅱ 物理学基礎演習Ⅱ 化学基礎演習Ⅱ 英語基礎演習Ⅱ	── 応用数学 I	応用数学Ⅱ	科学技術英語			
専門教育部門	カ学基礎 社会基盤デザインセミナー I デザイン学入門	材料力学 プログラミング基礎演習 デザイン技法	株式	ボーダチェ 構造力学 II 水理学 II 土質力学 II 社会基盤計画学 I 都市・国土制度論 都市デザイン学 建設材料学 測量学実習 II	株造力学Ⅲ 株造力学Ⅲ 水理学Ⅲ 土質力学Ⅲ 社会基盤計画学Ⅱ		── GIS+CIM実習	
ネ 科トジ 目系メ 群 ン・	₹				都市解析学 交通デザイン学	都市経済学まちづくり実習	プロジェクトマネジメント	
料工計 目系 施	1				土質·材料試験法 構造·水理実験演習	鋼構造学 コンクリート構造学 建設施工法	施設維持管理論	
科境 目系 群			都市安全学	水文·水資源工学	河川工学 地盤防災工学	海域工学 水域環境工学 地圏環境工学	耐震工学	TI da
科門問総群合					社会基盤デザイン総合演習Ⅰ	社会基盤デザインセミナーⅡ グローバルインターンシップ キャリアデザイン 社会基盤デザイン総合演習Ⅱ	☆	研究
他の		データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 II		77			

		必修科目 ⋯⋯	選	択必修科目 選択科		4目								(20	25年度人字生適用)
			1年			2年] [i	3年				4年	
部門 系	細目	前期		後期	前期		後期		前期		後期		前期		後期
		英語コミュニケーショ	ンI	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーション	п		Н	プラクティカル・イングリッシュ I	<u> プ</u>	ラクティカル・イングリッシュ [П			
		ドイツ語 I		ドイツ語Ⅱ	ドイツ語皿		ドイツ語Ⅳ								
		フランス語 I		フランス語Ⅱ	フランス語皿		フランス語Ⅳ								
総		中国語 I		中国語Ⅱ	中国語皿		中国語IV								
슴		11		11	11		11 7.1 336	-							
基 礎		体育科学I		体育科学Ⅱ	┣━ 体育科学Ⅲ		体育科学Ⅳ	┚╽							
部		人文科学基礎 I		人文科学基礎Ⅱ	マジマサル絵(アジア文化論Ⅱ	-	国際関係論	,	国際経済論	_			
門		イスペータを使 I 社会科学基礎 I		社会科学基礎Ⅱ	アジア文化論 I 欧米文化論 I		欧米文化論Ⅱ		文学		心理学				
		[社会付于圣诞 1		11五付于圣诞 11	以		以	┚╽╽	日本国憲法		心生于	_			
		基礎ゼミナール I	- 	基礎ゼミナール Ⅱ					職業指導論	1					
		Enc 247 77 2		± 1,2 1,7 1,7 ±					JANNA JE 43 Min	1					
		微分積分 I		微分積分Ⅱ											
		線形代数 I	 -	線形代数Ⅱ											
		物理学 I		物理学Ⅱ											
				物理学演習											
		物理学実験 I	<u> </u>	物理学実験Ⅱ											
		化学 I		化学Ⅱ		š .									
理		化学実験 I		化学実験 Ⅱ											
工		地学 I		地学Ⅱ											
学基		地学実験 I		地学実験 Ⅱ											
礎和			[生物学	生物学実験			_							
		理工学概論					技術者倫理								
		コンピューターリテラ													
		データサイエンス・AI	入門	** ** + ** ** 77											
		数学基礎演習 I	<u></u>	数学基礎演習Ⅱ											
		物理学基礎演習」	<u> </u>	物理学基礎演習Ⅱ											
		化学基礎演習 I 英語基礎演習 I	T	化学基礎演習Ⅱ 英語基礎演習Ⅱ											
		1	-	大山坐城/8日 工											
専		環境創造工学概論	īī I	環境創造工学概論Ⅱ	環境創造工学演習 I	ů	環境創造工学演習Ⅱ	Ш	環境創造工学演習Ⅲ	Щ	ゼミナール			卒業研究•卒業制	制作
門 教		次 5亿万之二] [於][[[]	<u> </u>	从 元元三二] [成品] 五	从外间是上了灰白		从 机们是工]	_ L	コミュニケーションスキル	1 L 				1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
									インターンシップ	1 					
育 共 部 通 門					応用数学			L	107 0000	1					
'					確率統計学										
				I 12	1度平利1日子					1 1 7		-1			
が資			<u> </u>	エネルギー環境論	### W 1 1 1		エネルギー管理工学		環境エネルギー変換工学	<u> </u>		酒			
イ‴・ オ _エ					熱化学・光エネルギーエ	字	有機材料工学	丌	無機材料工学		環境分析化学	4			
エエー					環境材料学		材料リサイクル	╀	資源循環学	! _	環境配慮創造設計学	41			
資源・エネルギコー					生物化学工学		水環境工学	7	水処理工学	<u> </u>	分離プロセス工学	-			
			i-	11 12 14	基礎生態学		環境生態工学	卅	環境生物工学	! _	環境アセスメント	4			
				快適性設計基礎	快適性設計学 I		快適性設計学Ⅱ	卅	快適性創造工学	屽ᅳ	空気調和衛生工学				
環境				環境システムⅠ	環境システム Ⅱ	\Box \Box	都市システム I	\mathbb{H}	都市システムⅡ	I					
*境マネジメン					情報処理 I		情報処理Ⅱ	\mathbb{H}	データ科学 I	$H \square$	データ科学Ⅱ				
料ジ 学以					環境計測学 I	$\Box H$	環境計測学Ⅱ	\mathbb{H}	空間情報科学	$H\Box$	環境解析学				
						[気象·気候学	H	環境リモートセンシング	I					
					材料力学		構造力学 I	卅	構造力学Ⅱ	1					
デー					ランドスケープ I	$\exists H$	ランドスケープ Ⅱ	卅	地域環境計画演習	1					
共通			F	環境倫理	環境法	一山	建設法規	₩	建設施工学	$oldsymbol{oldsymbol{+-}}$	環境構造設計法	٦t			
							. —	- -	•	• -		_		<u> </u>	
他での				データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基	:從Ⅱ									

	必修科目	選択必修科目	選択科目 自由科	目				
		年		2年		年	4年	
部門 系	+ <u></u>	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	英語コミュニケーション I	▼ 英語コミュニケーション Ⅱ	英語コミュニケーション皿	英語コミュニケーションⅣ	プラクティカル・イングリッシュ I	┤ プラクティカル・イングリッシュ Ⅱ		
	ドイツ語 I	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語皿	ドイツ語Ⅳ				
	フランス語 [┣ フランス語Ⅱ	フランス語皿	十 フランス語Ⅳ				
総	中国語I	中国語Ⅱ	中国語Ⅲ	中国語IV				
合								
基	体育科学Ⅰ	┣ 体育科学Ⅱ	┿ 体育科学Ⅲ	本 体育科学Ⅳ				
礎 部	1 -1 -7 W +1 -11 -							
門	人文科学基礎 [人文科学基礎Ⅱ	アジア文化論 I	アジア文化論Ⅱ	国際関係論	国際経済論		
	社会科学基礎 I	社会科学基礎Ⅱ	欧米文化論Ⅰ	欧米文化論Ⅱ	文学	心理学		
		サロボント ロロー			日本国憲法			
	基礎ゼミナールⅠ	基礎ゼミナールⅡ			職業指導論			
	微分積分Ⅰ	微分積分Ⅱ						
	線形代数 I	- 線形代数Ⅱ	101.224 7	111.224.77	UL 24 CT EA T	W. ** ch		
	物理学Ⅰ	物理学Ⅱ	地学 I	地学Ⅱ	地学実験Ⅰ	地学実験Ⅱ		
	物理学実験Ⅰ	物理学演習						
	化学 I	ー <u>物理学実験 II</u> - 化学 II						
理工工	化学実験 I	化学実験Ⅱ						
学	10十天款 1	生物学	生物学実験					
基	理工学概論	上197于	工170千天款	技術者倫理				
礎 科	コンピューターリテラシー			1文約7日1冊/生				
	データサイエンス・AI入門							
		→ 数学基礎演習 Ⅱ !						
	数学基礎演習 I ►	#FMB # # # # # # #						
	物理字基礎演習 I 上	上 化学基礎演習 II						
	英語基礎演習I	英語基礎演習Ⅱ						
	建築計画概論		建築計画 I	建築計画Ⅱ	建築計画皿			
専計				都市計画	住環境計画	建築法規行政	地域計画	
門画	デザイン基礎 I	デザイン基礎Ⅱ	基本空間デザインⅠ	基本空間デザインⅡ	建築デザインⅠ	建築デザインⅡ		
教			CADデザイン			インテリアデザイン		
育 ——		建築史概論	西洋建築史	日本建築史		近代建築史	アジア建築史	
部 意史 門 匠・	<u></u>							
環				建築環境物理	建築環境計画	建築環境実験		
境		建築環境概論	建築環境工学		CONTRACTOR AND PROPERTY.		- 都市環境デザイン	
設				建築設備概論	建築設備工学 I	建築設備工学Ⅱ		
	構造力学概論	構造力学Ⅰ	構造力学Ⅱ	構造力学Ⅲ		2.000 (2.		
	11/02/21 1//000	建築構造概論	ITAC/J I		建築構造計画		建築構造設計	
構		С—сатана се немиш	■ 建築各種構造 I ■		建築構造デザインⅠ		Comments of the Control of the Contr	
造				建築各種構造Ⅱ		■ 建築構造デザインⅡ		
					→ 建築構造実験			
					耐震工学		都市防災	
生料士		建築材料概論	建築材料		建築材料実験			
産・	7			建築生産概論	建築生産Ⅰ	建築生産Ⅱ	建築維持保全	
建			建築応用数学					
築					インター			
総	ワークショップ				設計総	合演習 :休暇集中	<u> </u>	
合					ゼミナール I	ゼミナールⅡ	卒業研究·卒	業制作
その		データサイエンス・AI応田基礎 T	データサイエンス・AI応用基礎 II					
他		, ,,,二,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,,,二,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					

農学部 授業科目履修系統図【教養教育部門】

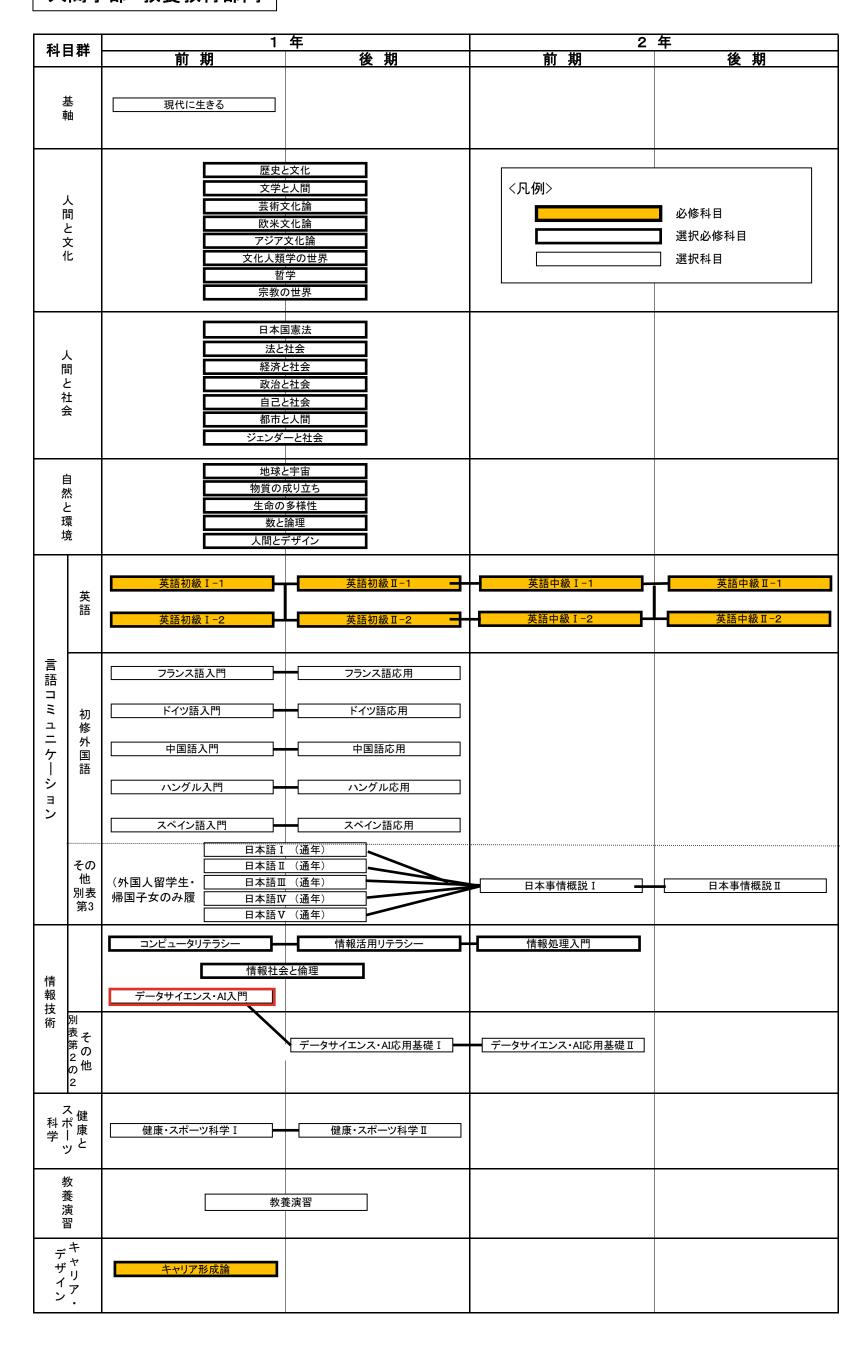
辰子叩 顶 	受業科目履修糸統凶 【教養教育部門】 	2年	32	<u> </u>	4年	
	前期 後期	前期後	· 期 前期	後期	前期 後期	
人文社会科目群	哲学世界の歴史と文化心理学日本の歴史と文化日本国憲法政治学暮らしの中の法律社会学経済学宗教の世界メディアリテラシー日本語学				<凡例>	人文社会科目群
自 料 目 料 群 学	地球と宇宙 物質の成り立ち 生命・食料・環境					自 科然 目科 群学
教養教育部門言語コミュニケーション科目群	英語I 英語I 中国語I 中国語I ドイツ語I ドイツ語I フランス語I フランス語I 海外語学研修I 日本語I(通年) 日本語I(通年) 日本語II(通年) 日本語II(通年) 日本語II(通年) 日本語II(通年) 日本語II(通年)	英会話Ⅲ	唐IV 陰話IV			言語コミュニケーション科目群教養教育部門
科目 科 目 群 術	情報機器の操作 I 情報機器の操作 II データサイエンス・AI入門					科情 科報 目技 群術
健康とスポーツ	健康・スポーツ科学 Ⅰ	健康・スポーツ科学Ⅲ 健康・スポーツ科学Ⅳ	'一ツ科学 V			健康 科 日 ポ ー ツ
キャリア教育		インターンシップ I インターンシップ I キャリアデザイン学 職業指導論				キャリア教育
そ	データサイエンス・AI応用基礎 I	データサイエンス・AI応用基礎 II				# A T T A



令和7年度 都市情報学部都市情報学科履修系統図(教養教育部門)

科口	1	年	2年						
科目群	前期	後期	前期	後期					
人間と文化	芸術 世界遺産とツ アジア 文化人数 セ	: と文化 : 文化論 ! /一リズム ※1 : 「文化論 : 質学の世界 : : : : : : : : : : : : :							
人間と社会	法と 経営 国際化時代 社 都市 ジェンタ	国憲法							
自然と環境	現象	論理 と論理 と と と は と 環境							
言語コミュニケーション	英語基礎 I (リーディング) 英語基礎 I (コミュニケーション) 英語初級 I - I (リーディング) 英語初級 II - I (コミュニケーション) 英語初級 II - I (コミュニケーション) ブランス語入門 I プランス語初級 I ドイツ語入門 I ドイツ語初級 I	英語基礎 II (リーディング) 英語基礎 II (コミュニケーション) 英語初級 I - II (リーディング) 英語初級 II - II (コミュニケーション) 英語初級 II - II (コミュニケーション) ブランス語入門 II プランス語初級 II ドイツ語入門 II ドイツ語初級 II							
		Ⅱ(通年)	日本事情概説 I	日本事情概説Ⅱ					
情報技術	コンピュータ プログラ 情報社	タリテラシー: : : ステム ※2 : ミング入門: : 会と倫理:							
スポーツ 料・ツ	健康・スポーツ科学 I	健康・スポーツ科学Ⅱ	健康科学論 I	健康科学論Ⅱ					
教養演習	教者	演習							
習		1	<u> </u>	Jア認証プログラム(ツーリズム分野)対象科目					

人間学部 教養教育部門



2025 (令和7) 年度 外国語学部国際英語学科 履修系統図

			1年	2年	3年	4 年		
部門・科目群 -		科目群	前期後期	前期後期	前期後期	前期後期		
教養教育部門	基軸科目		現代に生きる			凡 例 —		
	発 展 科 目	人間を考える	歴史と文化 芸術と人間	哲学 心の科学 文化人類学		必修科目		
		社会に生きる	日本国憲法 市民と社会 経済学 海外留学入門	ジェンダーと社会 科学と技術の歩み		選択科目		
		自然と生きる	人間と自然 地球と宇宙	生命の多様性数と論理				
	情報教育科目		コンピュータリテラシー ウェブデザイン 情報社会と倫理 [部門・科目群]: その他・ データサイエンス・AI 入門 データサイエンス・AI 応用基礎 I	データサイエンス・AI応用 データサイエンス・AI応用基礎II				
		体育科目	健康・スポーツ科学 I 健康・スポーツ科学 II					
	キャリア教育科目		日本とグローバル人材	キャリア形成論 インターンシップ				
	外国語科目群	第一外国語科目	英語コミュニケーションI (基礎1) 英語コミュニケーションI (基礎2) 英語リーディング I (基礎1) 英語リーディング I (基礎2) 英語ライティング I (基礎1) 英語ライティング I (基礎2) 英語ディスカッションI (基礎2)	> 英語コミュニケーションⅢ (応用1) > 英語コミュニケーションⅣ (応用2) > 英語リーディングⅢ (応用1) > 英語ライティングⅣ (応用2) > 英語ディスカッションⅢ (応用1) > 英語ディスカッションⅣ (応用2)	→ 英語コミュニケーションV (発展) > 英語リーディング V (発展) > 英語ライティング V (発展) > ボブリック・スピーキング → ディベート			
		第二外国語科目		中国語入門 I 中国語初級 I 中国語入門 I 中国語初級 I 韓国語入門 I 中国語初級 I ウランス語入門 I フランス語初級 I フランス語入門 I フランス語初級 I スペイン語入門 I スペイン語初級 I スペイン語入門 I スペイン語初級 I	中国語中級 I 中国語応用 I 中国語中級 I 中国語応用 I 中国語応用 I 中国語応用 I 中国語応用 I 中国語応用 I 中国語応用 I 中国語応用 I フランス語中級 I フランス語応用 I フランス語中級 I フランス語応用 I スペイン語中級 I スペイン語応用 I スペイン語応用 I スペイン語応用 I			
専門	専「	門基礎科目群	英語学概論 異文化理解 アジアを学ぶ 地域研究論 日本中世近世史 日本中世近世史	英語の構造と仕組み コミュニケーションのための英文法 イギリス文学研究 アメリカ文学研究 インタラクティブ・イングリッシュ I 異文化コミュニケーション 多文化共生論 日本の伝統文化 日本の先端文化	選択必修科目枠① (英語・異文化理解に関する基礎科目) 選択必修科目枠② (日本に関する基礎科目)			
.教育部門	専門基幹科目群		アカデミック・イングリッシュ I	アカデミック・イングリッシュ I 第二言語習得論 英語科教育法 I 英語科教育法 I アメリカ地域研究 イギリス地域研究 中国地域研究 韓国地域研究 海外研修 イスラム教文化論 ポブリックリレーションズ 日本の経済 日本の政治 日本の政治	メディア・イングリッシュ I 英語の拡がりと多様性 ベトナムの言語と文化 I タイの言語と文化 I インドネシアの言語と文化 I オンドネシアの言語と文化 I 国際フィールドワーク I (英語圏) 国際フィールドワーク I (非英語圏) 現代の日本社会	選択必修科目枠(地域研究・フィールドワーク等に関する基礎科目)		
	専「	門展開科目群			ビジネス英語 英語プレゼンテーション 英語科指導法 I 英語科指導法 I 国際関係論 近現代の日韓関係 アセアン事情 南アジア事情 日本のものづくり 日本のツーリズム			
	ゼミ	ナール科目群	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ	ゼミナール I ゼミナール II ー	→ ゼミナールⅢ → ゼミナールⅣ		

総合コース

1. 履修登録での留意事項

「情報工学部教育課程」および「履修等に関する規定」を熟読のうえ履修登録をしてください。

自由科目、他学部・他学科履修科目および単位互換に関する包括協定により他大学で履修した科目の修得単位は進級、卒業研究着手条件および卒業に必要な単位数に算入されません。ただし、理工学部で開講されている「データサイエンス・AI 入門」については、専門教育部門(理工学基礎科目)における選択科目の単位数に算入することができます。

2. 進級の条件

2年次から3年次への進級については、次の条件が必要です。

2年次終了までに62単位以上を修得していること。情報工学基礎科目のうち、3科目以上を修得していること。

3. 研究ゼミナールの履修条件

次の条件を満たすことを原則とします。

当該科目履修開始時に85単位以上修得していること。

ただし、「卒業研究」を履修中もしくは修得済みの場合は履修できません。

4. 卒業研究の着手条件

次の条件を満たすことを原則とします。

4つのプログラムのうち、いずれか1つ以上のプログラムで、残り10科目以内の修得で卒業可能であること。

5. 卒業の要件

卒業に必要な単位数は次のとおりです。

情報工学専門科目の選択必修科目については、4つのプログラムのうちいずれか1つ以上のプログラムで下記のプログラム指定科目要件をすべて満たすものとします。

		部	門			項目						単 位		
						選	選 択 必 修 科				10単位			
総	合	基	礎	部	門	選	折	7	科			1 0	単位以	上
						計				2 0	単位以	上		
					B PJ	必	修	*	科		B	1 0	単位	
						選択必修科目 *4	Ŧ	理工学基礎科目			*]	1 2	単位	
			牧 育	予			∃				◎科目	1 6	単位	
専	門	教					-	プログラ.	ム指定科目		※科目	9	単位	* 2
										0		1.1	単位	* 3
						選	折	7	科		B	4 6	単位以	上
								計				1 0 4	単位以	上
	合計						1 2 4 単位以上							

- * 1 理工学基礎科目の選択必修科目については,微分積分 I · II ,線形代数 I · II を含み,12 単位以上修得すること。
- *2 ※科目を9単位を超えて修得した場合、○科目又は専門教育部門の選択科目の単位として算入されます。
- *3 ○科目を11単位を超えて修得した場合、専門教育部門の選択科目の単位として算入されます。
- * 4 プログラム指定(◎, ※, ○) が無い科目を修得した場合,専門教育部門の選択科目の単位として算入されます。

MEIJO UNIVERSITY

数理・データサイエンス・AI教育プログラム「データサイエンス・AI入門」取組概要

本科目の狙い

データサイエンスおよびAIの基礎的な知識を修得し、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に着け、第4次産業革命、Society5.0の社会に必要とされる人材を育成する。

本科目の概要

- ・数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」を網羅。
- ・文理融合の総合大学としての魅力を活かし、様々な分野でのデータサイエンス・AIの活用例を学ぶ。

プログラムで身につけることができる知識・能力・技能(学修成果)

- 1. データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる。
- 2. データサイエンスの基本的な分析手法を身に着け、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる。
- 3. データサイエンスやAIIに関する倫理的・法的な心得を理解する。

主要な取り組み

- ①全学部の学生が履修可能
- ✓名城大学に所属する全学部 の学生が履修可能。
- ✓ オリエンテーション・ガイダン スや公式ウェブサイト内の特 集ページで学内外に広く周知
- ②文理融合の全方向アプローチ
- ✓全10学部の教員リレー形式で 講義を担当
- ✓数理・データサイエンス・AIの 基礎と各分野での活用例を学 ぶことができる。

- ③フル・オンデマンド講義
- ✓ ICT を活かしたオンデマンド教育 により、24 時間受講できる環境を 構築
- ✓講義内容や資料をいつでも閲覧 し、理解度に合わせて学習を進め ることが可能

MEIJO UNIVERSITY

その他補足資料(検討体制及び検証体制)

背景•概要

「AI戦略 2019」や、文部科学省の「数理・データサイエンス・AIプログラム(リテラシーレベル)」等の政策動向や、社会的なニーズを踏まえつつ、本学のすべての学生がAI・データサイエンスが社会にもたらす価値や、デジタル技術が生き渡った社会における諸課題について俯瞰的に知識を身につけ、新しい社会の中でそれぞれの専門を生かしていくことを目指し、大学協議会の下に「データサイエンス教育検討ワーキンググループ」を設置し、数理・データサイエンス・AI科目(リテラシーレベル)の検討を開始した。

構想段階(令和3年4~6月)

データサイエンス教育検討ワーキンググループ

【主な検討内容】

- (1)教育コンテンツづくり(シラバス、教材等の作成)
- (2)科目設置後の運営体制
- (3)科目担当者
- (4)その他必要な事項

座長:教育担当副学長

実働・検証段階(令和4年4月~)

データサイエンス・AI入門科目運営委員会

【主な活動内容】

- (1)教育コンテンツに関する事項
- (2)担当教育職員に関する事項
- (3)科目の自己点検・評価に関する事項
- (4)その他、科目運営に関する事項

座長:教育•情報担当副学長



- 令和4年度は全学で2,479名の学生が履修
- ・学生のニーズを踏まえ、令和5年度からデータサイエンス・AIIに係る副専攻や、一部の学部で応用基礎レベルを充当するプログラムを開講

データサイエンス・AI入門科目運営 委員会WG

- ・科目担当者全員による会議
- ・授業の方法や内容、成績について、検証し、改善を行う。

外部評価委員会

・産業界の方の助言から授業改善の手がかりや、学修成果の内容や情報の示し方等について意見交換と改善を行う。

